



第 68 号

発行人  
 福 井 県 剣 道 連 盟  
 理事長 市 橋 和 廣  
 事務局  
 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7  
 榊マルツ電波二の宮店 付属舎  
 TEL・FAX (0776)28-6616  
 メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

### 級位審査に

## 「木刀による剣道基本技稽古法」

去る三月二十一日(日)および五月二十三日(日)に、葬会館(福井市)において福井県剣道連盟の理事会・評議員会が開催されました。

平成二十二年度の基本方針や事業計画、収支予算ならびに平成二十一年度収支決算の審議に加え、級位審査規則の改正が審議、了承されました。

全日本剣道連盟の方針を受け、今年度から一級から三級の級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」を採り入れます。

一級……同稽古法

基本1から9まで

二級……同稽古法

基本1から6まで

三級……同稽古法

基本1から4まで

審査方法は、当分の間、各地区剣道連盟が行う講習を受講し、修了したことをもって合格とします。

木刀による剣道基本技稽古法は、「竹刀は日本刀である」という観念で「剣の理法」(日本刀の理法)を理解することを趣旨とし、平成十五年に全日本剣道連盟が制定しました。今回の改正は、きたるべき中学校での武道必修化に向け、集団指導の教材として同稽古法を採り入れることをも視野に入れたものです。新たな審査規則の施行に皆様のご理解とご協力をお願いします。

平成二十二年度の基本方針および重点事業は次のとおりです。

### 平成二十二年度 基本方針

日本の伝統と文化に培われた剣道の普及・発展を図るとともに、心身の錬磨による人づくりと社会の健全な発展に貢献するため、「剣道の理念」に基づき、社会から高く評価される活力ある剣道界の実現を目指し、県内外への剣道普及を図る。

### 平成二十二年度 重点事業

- 一 二巡目の福井国体の成功を期し、長期構想に基づき、福井県剣道連盟の活性化を図る。
- 二 第六十五回千葉国体への全種目出場と入賞ならびに各種の全国大会における入賞を目標に選手強化を図る。
- 三 中学校における武道の必修化に向けた万全な準備を行うとともに、少年剣道を軸とした剣道人口の拡大を図る。
- 四 傘下団体との連帯を強化することなどにより、より一層の剣道の普及・発展を図る。

### ●大飯地区剣道連盟が発足●

このたび、大飯地区剣道連盟が発足し、新規体制のもと、今年度から各種事業を行っていきます。福井県剣道連盟の理事、評議員および参与

にも、役員を選出されました。  
 〈大飯地区剣道連盟役員〉

- 会 長 的場 輝夫(県連盟参与)
- 副会長 渡邊 久暢
- 理事長 猿渡 和義(県連盟理事)
- 副理事長 入江 彰伸
- 事務局長 竹林 照善(県連盟評議員)

### ●二巡目国体準備委員会を設置●

平成三十年に予定される二巡目国体に向け、会長、副会長、理事長、副理事長および常任理事をメンバーとする準備委員会を設置しました。八年後の開催に備え、着実な準備を進めていきます。

### ●法人化検討委員会にて

### 県連盟のあり方検討

福井県剣道連盟は、現在、任意団体として活動しています。今後、さらに剣道の普及発展を図る上で、組織の充実や会員の拡大、運営の透明性を確保するため、法人化の是非について、検討委員会において調査・研究・検討を行います。

〈法人化検討委員会〉

- (委員長) 柳澤峰生 (副委員長)
- 坂田豊嗣 (委員) 相模利朗、市橋和廣、西川謙、堀江範雄、坂本裕一郎、小林和洋、大良克己

●段位審査料の一部改正●

段位審査会において、五段以下の受審者のうち形の審査で不合格となつた方が再受審する場合は、審査料を半額とすることとしました。なお、再受審前に形の講習を再受講する場合、形講習料は一回に限り無料となりますので、必ず形講習会を再受講してください。

▼全剣連広報誌

「剣窓」の購読を！▲

全日本剣道連盟が発行する広報誌月刊「剣窓」には、剣道界の最新ニュースのほか、著名な先生方の随想など役に立つ情報が満載です。年間購読をお勧めします。(税込価格三、一五〇円・送料込)お申し込みは各地区剣道連盟事務局または県剣道連盟事務局まで。



各地区剣道連盟会長あいさつ

坂井地区剣道連盟

会長 吉川文行



坂井地区剣道連盟(昭和五十九年四月坂井郡剣道連盟として七十六名にて設立)

会員百十五名の七代目会長として微力ですが務めております吉川文行でございます。

当連盟では毎年会員の総意に基づく活動の重点目標を決めておりまして、二十二年度の重点目標を次のとおり紹介し抱負に代えたいと存じますので、どうかご容赦の程お願いいたします。

「坂井地区剣道連盟 重点目標」

- 一、剣道スポーツ少年団・少年剣道教室の会員の掘り起こしを図る。
- 二、剣道錬成会を通して、青少年剣士たちの資質の向上と競技力の充実を図る。
- 三、毎月の稽古会に参加し、自己研鑽と会員の相互の融和を図る。
- 四、各種大会や講習会・研修会に積極的に参加する。
- 五、第五十八回福井県剣道大会「優勝」を目指す。

以上の五項目を当連盟の目標として、会員は日々精進をつづけているところでありますが、今後とも皆様方からご指導、ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

越前地区(市)剣道連盟

会長 金嶋八郎



平成十七年十月、武生市は今立町と合併し越前市となりました。それに伴い

連盟も平成十八年四月、越前地区(市)剣道連盟として再出発しました。あれから四年、お陰様で会員の皆さんのご協力により順調に経過しています。

連盟が活動をしているかどうかを見る目安は、次の二点にあると思います。

一点目は、会員一人一人が、出来るだけ多くの大会に出場して良い成績を挙げる事です。全国大会規模では必ず予選会があります。それを乗り越えなければ出場出来ません。不断的練習が不可欠です。

二点目は、会員一人一人が、常に上位段を目指して昇段していく事です。私は、いつも次のように言っています。

「五段は大学卒だ。六段は修士課程(マスターコース)、七段は博士課程(ドクターコース)、八段は大学教授(プロフェッサー)だ」と。そして、それが自分の肩書きになるのです。そのためにはやはり不断的努力が必要です。今年度の総会にて、以上の二点を会員の皆さんにお願いしました。

本年は、理事長、事務局長も一新し、新しい船出をしました。これからもよろしくご指導ご協力の程お願い申し上げます。

鯖江市剣道連盟

会長 小形権三郎



鯖江市剣道連盟は、昭和三十年に発足して以来、剣道を通して青少年の育成

連盟員の親睦、国民体育大会等大会予選の選手派遣、少年剣道教室の指導者の育成を目的とし、年三回の剣道級位審査会、主な大会として昭和二十八年より鯖江市三六史跡保存会との共催による三六大会、五十年より鯖江市少年少女剣道大会、五十八年より建国記念大会を開催してきました。

現在スポーツ少年団剣道教室七団

体、道場三団体が活動しています。

本年度の抱負として

一、連盟員間の連絡網を整備し活性化を図る。

一、少子化等によって減少している少年剣士の勧誘に努力。

一、木刀による剣道基本技稽古法の普及のための講習会を行う。

一、一般連盟員の資質向上のため毎週金曜日に行われている三六武道館の稽古以外に、五月から毎月第三火曜日に強化稽古会を同じく三六武道館にて行う。

なお、第三火曜日の強化稽古会に市外の先生方がご参加いただけると幸いです。

精神的、肉体的に貢献しています。我々も、先輩より「剣道とは剣の理法の修練による人間形成の道である。それと同時に、剣道を正しく真剣に学ぶことにより、心身を錬磨し旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節を尊とび、信義を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に努め、以って国家社会を愛して、広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。」と教えられております。子供たちや学生、剣道の仲間と一緒に稽古しながら我々も剣道を通して生涯学習をしております。私も多くの先生、先輩に稽古、ご指導をいただき、今日があるのです。剣道にご縁をいただいたおかげで先輩、友人、仲間と稽古をし有意義な時間を過ごしております。今後は感謝と報恩の実行を心がけ、日々精進をさせていただきます。

### 若狭地区剣道連盟

会長 小泉 吉 且



およそ国の将来はその国の青年の姿を見れば分かるといわれています。現在の剣道人口は全国的に減少しているようにみえます。残念ながら若狭地区剣道連盟も例外ではありません。

しかし剣道教室、中学校、高等学校で練習している子供たちの姿なり生活なりは目を見張るほどに変化し

精神的、肉体的に貢献しています。我々も、先輩より「剣道とは剣の理法の修練による人間形成の道である。それと同時に、剣道を正しく真剣に学ぶことにより、心身を錬磨し旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節を尊とび、信義を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に努め、以って国家社会を愛して、広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。」と教えられております。子供たちや学生、剣道の仲間と一緒に稽古しながら我々も剣道を通して生涯学習をしております。私も多くの先生、先輩に稽古、ご指導をいただき、今日があるのです。剣道にご縁をいただいたおかげで先輩、友人、仲間と稽古をし有意義な時間を過ごしております。今後は感謝と報恩の実行を心がけ、日々精進をさせていただきます。

精神的、肉体的に貢献しています。我々も、先輩より「剣道とは剣の理法の修練による人間形成の道である。それと同時に、剣道を正しく真剣に学ぶことにより、心身を錬磨し旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節を尊とび、信義を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に努め、以って国家社会を愛して、広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。」と教えられております。子供たちや学生、剣道の仲間と一緒に稽古しながら我々も剣道を通して生涯学習をしております。私も多くの先生、先輩に稽古、ご指導をいただき、今日があるのです。剣道にご縁をいただいたおかげで先輩、友人、仲間と稽古をし有意義な時間を過ごしております。今後は感謝と報恩の実行を心がけ、日々精進をさせていただきます。

### 丹生地区剣道連盟

会長 鈴木 治 磨



剣道の基本に立ち帰る

近年「少年剣道」が盛んとなり、素晴らしく

上達も早い。確かに一昔前に比べ、児童・生徒諸君の体位・体格も向上

し、指導者の指導技術の進歩、熱意がそれを支えていることも頷ける。今や幼少年剣道は、各地区の道場で、少年剣道クラブで、中・高等学校の剣道部で、毎日の様に熱心に、また激しく厳しく指導されている。誠に喜ばしい事である。

ところで、「全剣連」より従来の指導法に一石を投ずる提案がなされ、各方面で「話題」となっているようである。いわゆる「木刀による剣道基本技稽古法」の導入である。各地で発達段階に応じ、「〇〇少年剣道錬成大会」「中・高・大学」の選手権大会等が数多く開催されている。その試合、試合の中での攻防が「刃筋の通った」「正しい竹刀捌きであったのかどうか。無駄、無理、無らのない、理合いに適っていたかどうか」と。それらの反省から、竹刀を木刀(刀)にみため、「正しい竹刀の取扱方法や操作方法を、今一度正しく指導してもらいたい」との願いのもと、昇級審査にも「木刀による」が追加されたものと受け止め、地区剣道連盟でも、この趣旨を活かした指導に力を入れていきたいと思う。



### 大飯地区剣道連盟

会長の 場 輝 夫



平成二十二年 五月二十三日に開催された、福井県剣道連盟理事會、評議員會

において、大井郡の剣道関係者の積年の悲願でありました、高浜・おおい両町の地区連盟の加盟が正式に承認されました。

承認にむけ、深い理解と協力をいただきました。土谷会長をはじめ、福井県剣道連盟役員の皆様は紙面を借り、心からの御礼を申し上げます。県内十二番目の地区連盟としての役員体制は

- 会 長 的場 輝夫
- 副会長 渡邊 久暢
- 理 事 長 猿渡 和義
- 副理事長 入江 彰信
- 事務局長 竹林 照善

が選出されました。役員一同は、大飯地区剣道連盟が地区内における剣道愛好家の拡大に努め、ひいては福井県剣道連盟の発展に微力ながら尽くしてまいることをお誓いし、御礼と御礼の挨拶いたします。



試合結果

平成21年度第19回全国高等学校剣道選抜大会

平成二十二年三月二十七日(土) 二十八日(日)

愛知県春日井市総合体育館

於 愛知県春日井市総合体育館
今年度の剣道選抜大会は、昨年の新人大会において女子団体で優勝した丸岡高校、男子団体で優勝した敦賀高校がそれぞれ出場しました。男子団体予選リーグでは敦賀高校が、大接戦をはたしたものの、惜しくも予選リーグ突破はなりません。大会結果は、以下の通りです。

▽男子団体

予選リーグAブロック

西大寺(岡山) 2-2 敦賀

島原(長崎) 2-2 敦賀

本数負け

▽女子団体

予選リーグAブロック

日章学園(宮崎) 4-0 丸岡

高知商業(高知) 2-0 丸岡

平成22年度福井県高等学校春季剣道選手権大会

平成二十二年四月二十五日(日)

敦賀市立体育館

於 敦賀市立体育館
本大会は、男女団体戦のみで、ベスト4は六月の春季総体のシード権を得ます。今年度の本大会は男女共に本数差や代表戦など拮抗した試合が数多くみられました。試合の結果、男子団体は啓新高校、女子団体は丸岡高校が優勝の栄冠を勝ち取りました。今年度の大会結果は、以下の通りです。

▽男子団体

一回戦

福井 1-0 丸岡

羽水 4-0 大野

武生 4-0 科学技術

敦賀 1-0 藤島

二回戦

北陸(代表勝) 1-1 福井

三国 3-2 武生東

啓新 5-0 高専

気比 2(本数勝) 2 羽水

武生 3-2 美方

金津(不戦勝) 1 春江工業

福井農林 2-1 若狭

敦賀 2-2 高志

三回戦

北陸 3-1 三国

啓新(代表勝) 1-1 気比

武生(本数勝) 2-2 金津

敦賀 5-0 福井農林

準決勝

啓新 3-1 北陸

敦賀 1-0 武生

決勝

啓新(代表勝) 1-1 敦賀



▽女子団体

一回戦

武生 2-1 啓新

丸岡 3-0 三国

藤島 4-0 武生東

福井 4-0 福井農林

美方 3-1 金津

高志 4-0 羽水

北陸 2-1 気比

敦賀 3-0 若狭

二回戦

丸岡(代表勝) 0-0 武生

福井 3-0 藤島

高志(本数勝) 1-1 美方

北陸 1-0 敦賀

準決勝

丸岡 1-0 福井

北陸 2-0 高志

決勝

丸岡(代表勝) 1-1 北陸



平成22年度 剣道中央講習会  
伝達講習会

平成二十二年五月十六日(日)  
於 県立武道館

堀江範雄教士七段と中西泰平練士七段を講師として標記の講習会が行われました。

今年度より「木刀による剣道基本技稽古法」が昇級審査に義務付けられるとあつてか、青少年の指導者を数十名が参加をして、真剣に講師の話に聞き入っていました。

「日本剣道形」「審判法」「指導法」「木刀による」と盛りだくさんの内容でしたが、両講師のポイントを押さえた説明のおかげで、スムーズに講習会が進んでいきました。また、閉講式後には合同稽古会が行われ、受講生はさわやかな汗を流していました。



平成22年度 全国都道府県  
対抗剣道男子優勝大会

平成二十二年四月二十九日(木)  
於 大阪市舞洲アリーナ

平成二十二年四月二十九日、大阪市舞洲アリーナにおいて大会が開催されました。本県選手団は、一回戦に鹿児島県と対戦しました。先鋒(高校生)久保田選手は、立ち上がりの初太刀に惜しい小手がありました。中盤に田ノ町選手に面を打たれ一本をとられました。その後、反撃に出ましたが、時間となり一本負けとなりました。次鋒(大学生)金子選手は、竹下選手相手に安定した試合運びで試合を進め、終了間際にすばらしい相手を打ち、本人も竹下選手も一本と思つて残心を取りましたが、審判の旗が揚がらず試合は引き分けとなりました。五将(三十五歳以下)中村選手は、積極的な試合運びで相手を責め、中盤に小手面のいい技がありました。この試合も引き分けとなりました。中堅(教職員)岩谷選手は、鹿屋体育大学監督の竹中選手に一步も引けを取らず、竹中選手が突きに来るところを見事な出鼻面を打つ機会が二回ありましたが、審判の旗が揚がりませんでした。終盤には完璧な出鼻小手を打つと、一番近いところの審判がようや

く旗を揚げましたが、他の二審判の旗が揚がりませんでした。この事態に、コート主任が急遽、次の試合の主審を呼んで、有効打突の見極めをしつかりするようにと注意する場面も見られましたが、結局、この試合も引き分けに終わりました。三将(警察官)森本選手は、強豪稲付選手との戦いになりましたが、冷静に試合運び両者有効打突が見られず、引き分けとなりました。副将(四十

九歳以下)山本選手は、積極的に試合を進め、中盤に飛び込み面が脇蘭選手の面を捕らえる場面が見られました。この試合も引き分けかと思つた終盤に、山本選手がもう一度飛び込み面にいくと、そのタイミングを逃さずに脇蘭選手が出鼻小手を打ち一本を取られてしまいました。間もなく時間となり一本負けとなりました。大将(五十歳以上)西川選手は、立ち上がりには小手にいった後、面に行くと牛濱選手に抜き胴を打たれ一本先取されました。この後、果敢に攻める西川選手に牛濱選手が我慢しきれずに出てきたところを、西川選手が面を打つと、これに旗が揚がり勝負となりましたが、時間となりこの試合も引き分けに終わりました。

本年度の本県チームは、各選手が持てる力を遺憾なく発揮し、強豪の鹿児島県チームと五分以上の試合を

してくれました。二巡目福井国体を控え今後の強化に向けて明るい材料が揃った大会でした。

▽試合結果

・一回戦

福井県 1/0 3/2 鹿児島県

先鋒 久保田陽介(気比高校)

次鋒 金子 亮介(中京大学)

五将 中村 好伸(福井刑務所)

中堅 岩谷 治彦(敦賀高校教員)

三将 森本 邦彦(県警機動隊)

副将 山本 英俊(県スポーツ課)

大将 西川 謙(武生第三中学校)

メー ド 牛濱 求



第24回福井県少年剣道錬成大会(兼) 第45回全日本少年剣道錬成大会

福井県予選

平成二十二年五月三十日(日) 敦賀市立体育館

平成二十二年五月三十日(日)に実施されました【第二十四回福井県少年剣道錬成大会(兼) 第四十五回全日本少年剣道錬成大会福井県予選】の試合結果をご報告いたします。

▽小学生の部

最優秀賞(優勝)

敦賀市剣道スポーツ少年団A

(山川・刀根・水野・山田・馬淵)

優秀賞(二位) 鯖江剣道団

優良賞(三位) 鯖江志土樹館道場A

優良賞(三位) 新風館愛宕坂道場



▽中学生の部

最優秀賞(優勝) 鯖江剣道団

(竹内・木村・京藤・田中・佐々木)

優秀賞(二位) 木田剣道スポーツ少年団

優良賞(三位) 芦原武道館

優良賞(三位) 福井養正館A



以上が、七月二十七日・二十八日に日本武道館で行われる、第四十五回全日本少年剣道錬成大会に出場します。

平成22年度 福井県少年男女国体選手

昨年十一月より、県内外の試合や選考会の結果をもとに選手選考を継続的に行い、最終的に次の選手に決定した。八月二十二日に行われる北信越国体での健闘を期待したい。

▽男子

監督 岩谷 治彦

コーチ 江戸 基紀

選手

奥瀬龍太郎(敦賀高校三年)

久保田陽介(敦賀気比高校三年)

刀称 健悟(啓新高校三年)

中西 規泰(美方高校三年)

山崎 由樹(啓新高校三年)

渡辺 賢(福井高校二年)

▽女子

監督 松永 毅

コーチ 澤 昌

金子 彩夏(敦賀気比高校三年)

北川 藍(丸岡高校三年)

野崎 理砂(福井高校三年)

堀 晴菜(高志高校二年)

増田 成美(武生高校二年)

柳原 有花(啓新高校一年)

※選手は五十音順

平成22年度 千葉国体最終選考会

平成二十二年五月三十日(日) 於 県立武道館

五月三十日に県立武道館において選考会が開催されました。三月の指定選手による第一選考会と四月の一

般選手第二選考会で選考された四、五名によるリーグ戦により試合が行われました。各部門の一位が選手として選考されました。

▽成年男子試合結果

・先鋒の部

一位 金子 亮介 二勝一敗

(中京大学・福井地区)

二位 井上 裕太 二勝一敗

(福井大学・三方地区)

三位 前田 浩由 一勝二敗

(県警機動隊)

一位二位は代表戦の結果

(代表)	前田	中村	井上	金子	勝率	順位
前田	△	△	メ反	1勝2敗	3	
中村	ド			1勝2敗	4	
井上	メ	メメ		2勝1敗	2	
金子	△	メ	メコ	2勝1敗	1	

・中堅の部  
 一位 森岡 裕一 二勝一敗  
 (県立武道館・越前地区)  
 二位 堤腰 一昭 二勝一敗  
 (アイビックス・敦賀地区)

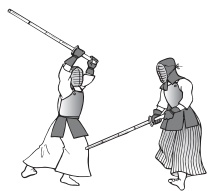
	澤	竹内	畑	鈴木	長谷川	勝 率	順位
澤		△	メ	△	△	1勝3敗	5
竹内	メ		メ	ト	メコ	4勝0敗	1
畑	△	△		メ	△	1勝3敗	4
鈴木	ド	△	△		メ	2勝2敗	3
長谷川	メメ	△	メコ	△		2勝2敗	2

・次鋒の部  
 一位 竹内 健 四勝〇敗  
 (県警機動隊)  
 二位 長谷川峻祐 二勝二敗  
 (県警機動隊)  
 三位 鈴木 秀典 二勝二敗  
 (県警機動隊)  
 二位と三位は取得本数差

・副将の部  
 一位 堀江 範雄 二勝〇敗  
 (県警察本部・坂井地区)  
 二位 柳原潤一郎 一勝一敗  
 (丸岡南中学校・福井地区)  
 三位 小辻 省一 〇勝二敗  
 (川西中学校・福井地区)

	堤腰	松永	西	森岡	勝 率	順位
堤腰		メメ	△	ドド	2勝2敗	2
松永	△		△	△	0勝3敗	4
西	メド	メ		△	2勝1敗	3
森岡	△	ココ	ココ		2勝1敗	1

三位 西 隼人 二勝一敗  
 (県警察本部)  
 一位と二位と三位は取得本数差



・大将の部  
 一位 西川 譲 一勝  
 (武生第三中学校・南条地区)  
 二位 豊福 安治 一敗  
 (自営業・坂井地区)

	小辻	柳原	堀江	勝 率	順位
小辻		△	△	0勝2敗	3
柳原	ド		△	1勝1敗	2
堀江	ド	ツコ		2勝0敗	1

・中堅の部  
 一位 高嶋 寿美 二勝一敗  
 (福井南養護学校・福井地区)  
 二位 谷口 典子 二勝一敗  
 (大信トラスト・越前地区)  
 三位 安原 真紀 二勝一敗  
 (東レタウニングコート・坂井地区)

	山田	豊島	八百	細川	勝 率	順位
山田		ド	コメ	△	2勝1敗	2
豊島	△		コ	△	1勝2敗	4
八百	△	△		△	0勝3敗	3
細川	メ	ツ	メコ		3勝0敗	1

▽成年女子試合結果  
 ・先鋒の部  
 一位 細川 梨絵 三勝〇敗  
 (文化女子大学付属杉並高校・ふるさと選手)  
 二位 山田 聖子 二勝一敗  
 (福井高校・越前地区)  
 三位 豊島 菜摘 一勝二敗  
 (金沢星稜大学・坂井地区)



	道内	江指	遠山	勝率	順位
道内		メ	コ	2勝0敗	1
江指	△		コ	1勝1敗	2
遠山	△	△		0勝2敗	3

・大将の部  
 一位 道内由佳里 二勝〇敗  
(福工業大学・福井地区)  
 二位 江指 恵 一勝一敗  
(朝日小学校・丹生地区)  
 三位 遠山 証子 〇勝二敗  
(若狭町鳥羽小学校・三方地区)

(代表) 高嶋 コー 谷口

	安原	橋本	谷口	高嶋	勝率	順位
安原		メ	△	メ	2勝1敗	3
橋本	△		△	△	0勝3敗	4
谷口	メ	メ		△	2勝1敗	2
高嶋	△	ド	コメ		2勝1敗	1

第二回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会の県予選会が県立武道館で開催されました。昨年を上回る二十四名のエントリーがあり、「自分が代表に！」と気迫のこもった試合が展開されました。先鋒の部については先に行われた県高校春季総体の個人戦優勝者が出場することになっており、次鋒、中堅、副将、大将の部に分かれて試合が行われ、代表が決定しました。代表に決定した五人

**第2回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会**

平成二十二年六月十三日(日)  
 於 県立武道館



監督 遠山 証子

の選手は七月十七日に東京都の日本武道館で開催される同大会に出場します。

▽試合結果

- ・先鋒の部 (高校生)  
 優勝 北川 藍 (丸岡高等学校)
- ・次鋒の部 (大学生)  
 優勝 伊藤 藍子 (国土館大学)
- ・中堅の部  
 優勝 山田 聖子 (福井工業大学福井高等学校教員)
- ・副将の部  
 優勝 高嶋 寿美 (福井南養護学校教員)
- ・大将の部  
 優勝 遠山 証子 (若狭町鳥羽小学校教員)

監督

道内由佳里 (福井工業大学教員)

また午後からは、平成二十二年度女子剣道審判法講習会を受講された高嶋寿美先生による伝達講習会と、五月に七段に昇段された道内由佳里先生による日本剣道形の講習会が行われました。日頃から講習会等に積極的に参加されている皆さんですが「今さらこんな質問・・・」との声もありました。今回は「反則の見極め」「位置取り」「所作」女性としての身だしなみ (基本的に審判員の服装に

男女の違いはありません) など細部まで楽しく、わかりやすく指導していただきました。日本剣道形も正しく構えられるという基本的なことから、一本ずつ実にはわかりやすく指導していただきました。

最後に今後の活動について膝をつき合わせたミーティングを持ち、剣道、審判技術の向上とともに親睦も深められた一日となりました。西川先生、堀江先生をはじめ、多くの先生方に御理解、御協力をいただき、このような研修会が持たれたことに感謝し(差し入れ有り難うございました)、今後も御支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

**福井県知事杯**

**「第7回福井県剣道選手権大会」**

平成二十二年六月二十七日(日)  
 於 小浜市体育館

本年も、男子四十二名、女子二十九名が参加し、福井県ナンバー1を決定する福井県剣道選手権大会が、小浜市体育館で開催された。

冒頭岩崎副会長が「今までの訓練成果を発揮し、知事杯を獲得して欲しい。」と挨拶があり、試合が行われた。

男子の部では、ベスト8には警察



官四名、大学職員二名、刑務官、会社員が残ったが、結局準決勝第一試合では、相馬選手（大学職員）と長谷川選手（警察官）が対戦し、相馬選手の上段から振り下ろすコテが一本になり相馬選手の勝ちとなり、第二試合では、中村選手（刑務官）と堀選手（警察官）が対戦し、堀選手の豪快なメン一本勝ちで終わった。決勝では、相馬選手と堀選手と対戦し、試合開始早々上段からメンと見せてのコテが決まり、堀選手も果敢に攻めるが決まらずそのまま時間切れとなり相馬選手が勝ち、相馬選手の初優勝となった。

また、女子の部では、準決勝第一試合に昨年の覇者伊藤選手（大学生）と山田選手（大学職員）が対戦し、山田選手のコテが決まり山田選手の勝ちとなり、続く第二試合では大柳選手（大学生）と高嶋選手（教員）が対戦し延長の末、高嶋選手がドウを決めた。

決勝では、山田選手と高嶋選手が対戦で、いつも稽古をしており手の内をよく知っている者同士となったが、勢いに乗る山田選手が一瞬の隙を見逃さずに得意のドウを決めそのまま時間切れとなり山田選手が勝ち、山田選手の今大会二度目の優勝となった。山田選手は、大舞台を何度も経験しているだけに、試合運びもうま

く「自分が勝つんだ。」という気迫が素晴らしかった。

今大会を振り返り、男子の部では好試合が展開され惜敗した選手もかなり多く見えた。

女子の部では、若手、特に高校生が上位に入れなかったのが少し残念であった。

それぞれ優勝した、相馬選手、山田選手にあつては、全日本選手権大会で一勝でも多く勝ち進んでいただくことを期待する。



# みんなの広場

## 越前市剣道連盟

本連盟は、戦前からの「武生剣友会」を基盤に、昭和二十八年五月一日に、福井県剣道連盟武生支部として結成されました。その中心は故藤井精治先生、故石川流清先生、石黒内匠先生をはじめ多くの諸先輩方でした。二十九年から、第一回市民剣道大会が開催され、次の年からは「奉納

### ▽男子

- 優勝 相馬 友
- 次勝 堀 哲也
- 三位 長谷川峻祐
- 三位 中村 好伸



### ▽女子

- 優勝 山田 聖子
- 次勝 高嶋 寿美
- 三位 伊藤 藍子
- 三位 大柳 奈未



## 剣道部・クラブ紹介

「試し斬り大会」が始まり、本年度、五十六回を数えています。

昭和四三年から、五〇年代にかけて、市内の各小学校単位でスポーツ少年団が結成され、校下に在住の会員がその指導に当たってきました。平成一七年、旧今立町と市町村合併し、現在八つの少年団が活動しています。

五十一年には、武生市体育館を会

場に全国高等学校剣道大会（インターハイ）が開催され、地元校の教員、たつた現金嶋会長を中心に多くの会員の力を結集して無事成功に至りました。

昭和五十四年には、待望の武道館が竣工し、活動の拠点となりました。年間を通じて延べ約千五百人の会員が稽古に汗を流しています。

平成十五年に当連盟創立五十周年及び武道館落成二十五周年記念事業が実施され、記念剣道大会や相模先生をお迎えし記念講演を開催し、「武生市剣道連盟五十年史」を発刊しました。

平成二十一年には武道館落成三十

周年記念「越前市民剣道祭」が開催され、従来の試合中心の大会に変え、木刀による剣道基本技稽古の講習会と居合道稽古発表会とし、五十名近くの会員の参加を得ました。

主な年間行事ごとに、担当理事を選任し、これを中心に各事業が遂行されています。現在会員数一〇五名。

〈主な年間行事〉

- ・ 定例稽古会
- ・ (剣道 毎週 火、木、土曜日)
- ・ (居合道 毎週 日、月曜日)
- ・ 新春奉納試し斬り会と初稽古会 (一月三日)
- ・ 寒稽古 (一月中、下旬)
- ・ 通常総会 (五月)
- ・ 越前市少年少女合同交流稽古会 (四・十二月)
- ・ 県下少年少女剣道練成武生大会 (八月下旬の日曜日)
- ・ 越前市少年少女剣道大会 (九月・三月)
- ・ 市民体育大会剣道競技 (七月)
- ・ 越前市民剣道祭(十二月)
- ・ 級位審査会(九・十二・三月)

〈役員〉

- 会長 金嶋 八郎
- 副会長 山田 昭栄・藤岡 文男
- 松本 敏夫
- 理事長 尾形 言成



金津高校剣道部

金津高校剣道部は現在、男子九名、女子四名、合計十三名で活動しています。

金津高校は開校して二十六年目の高校で若い力に満ちあふれている学

- 副理事長 内藤 嘉昭・宮川 保則
- 事務局長 玉村 伸治
- 事務局長 堂前 光夫・辻 慎二郎
- 会計 楠 宏彰
- (事務局長 玉村 記)

校です。剣道部も学校と同じ歴史を歩んできました。当初から剣道

専門の先生が顧問としてついで、剣道を通して高校生活が楽しく充実したものとなるような活動を行っています。

試合での勝利、段審査での昇段を目標として、部員は日々一生懸命稽古に取り組んでいます。平成八年には、

北信越高校剣道新人大会出場、平成十一年には、北信越高校剣道大会に出場を果たすとい

った大きな成果も挙げています。段審査においてもそれぞれが自分の目標を達成しているところです。

金津高校は、中高一貫教育校でもあり、中学校との交流を積極的に行っています。特に芦原中、金津中学校とは、合同稽古を定期的に行い、勉強面だけでなく、剣道の面においても中学校から高校へスムーズに進むことができるような体制になっています。一貫教育という特色を生かした剣道部の活動をさらに充実させて、高校生活が充実したものになるようにしたいと考えています。

試合や段審査を目標としながら、



〒917-0073 福井県小浜市四谷町20-13 TEL & FAX 0770-53-3450



〒917-0073 福井県小浜市四谷町20-35-1 TEL & FAX 0770-53-3300

剣道をやっていく目的は、「人と仲良くできる」「あいさつができる」「心配りができる」「感謝の気持ちをもつ」「あきらめない気持ちをもつ」など、人間力を高めることです。人間として成長することが大切であること、家族や、あわら・坂井地区を中心とした先生方への感謝を忘れず、よりすばらしい高校生として活躍できるように、今後も稽古に励みたいと考えています。

今後のご指導をよろしく願います。

(道内 博道 記)

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十二年五月九日(日)

於 越前市武道館

「初段」 七十九名

嶋田康希(春江中) 坂本龍馬(荻原中) 丸山拓也(坂井中) 南部翼(丸岡中) 岡島敏匠(坂井中) 半田勇基(坂井中) 山崎樹也(三國中) 松本侑也(三國中) 高倉圭諒(春江中) 田原圭悟(丸岡南中) 平島徹也(金津中) 尾田壯志(春江中) 三浦思聞(三國中) 湯川慎太郎(丸岡南中) 石水浩基(春江中) 高山和佐(三國中) 中山藤倅太(丸岡中) 佐藤菜奈(武生二中) 鳥取敬大(啓新高) 楠崎雅人(武生六中) 岩崎実典(武生六中) 三田村(武生六中) 森岡鴻介(武生二中) 小河夢大(武生一中) 小倉愛海(勝山南中)

岩崎昌太郎(今庄中) 歌門孝太(今庄中) 松田詩野(粟野中) 山野隼人(気比中) 水嶋一太朗(清水中) 荒木穂高(越前中) 藤田悠菜(和泉中) 岡本菜那(若狭高中) 森島千遥(小浜中) 丹羽礼佳(小浜中) 吉村哲一(若狭地区) 鈴木香菜子(三方中) 藤本奈々(三方中) 坂本菜子(三方中) 池田佳樹(三方中) 小西智裕(三方中) 宮川拓馬(三方中) 川島秀夫(三方中) 河原悠真(三方中) 渡辺真人(三方中) 島田瑛実香(鯖江中) 古河望美(中央中) 伊藤千紘(鯖江中) 飯塚麻貴(鯖江中) 宮内瑠菜(中央中) 下田聖也(中央中) 富永優馬(中央中) 加藤志織(春江中) 松浦奈々(丸岡中) 桐生菜緒(三國中) 森友香(丸岡南中) 市村真希(荻原中)

「貳段」四十七名

廣瀬晴規(金津高中) 山田玲央(三國中) 桐生竜椰(三國中) 市村直己(荻原中) 長谷川輝(春江中) 堀江尚史(春江中) 京藤啓佑(武生一中) 坪川翔(武生二中) 小玉祐美(福井地区) 宮澤芽生(成和中) 岡田真由香(藤島中) 藤本久瑠見(藤島中) 森野俊志(福井地区) 炭谷隆太(福井高中) 田中亮太(羽水高中) 加藤晃平(羽水高中) 菊一健太(松岡中) 峯村和彦(明倫中) 中嶋優太(足羽一中) 松平悠志(藤島中) 藤塚辰弥(藤島中) 加藤章裕(附属中) 道内克宗(大東中) 輕部和貴(明倫中) 羽田野剛志(藤島中) 白崎雄也(成和中) 東直樹(成和中) 笠原直望(明道中) 重久征暉(大東中) 新海梓(今庄中)

中條貴志(明道中) 後藤秀太郎(明道中) 毛利貴祐(足羽一中) 竹内日保(敦賀高中) 木村奈緒美(敦賀高中) 宮原美智(敦賀高中) 光原祥吾(敦賀高中) 石丸晃平(敦賀高中) 三國晃(丹生地区) 吉川繁治(丹生地区) 前田整治(美方高中) 安藤有紀(三方中) 藤本実優(三方中) 小堀理絵(三方中) 百田光里(三方中) 中西香織(三方中) 渡辺勇太(美方高中) 吉村祐紀(三方中) 百田貴哉(三方中) 安藤良祥(三方中) 加藤有紀(中央中) 墨崎裕幸(鯖江地区) 長家優也(中央中) 青竹達也(中央中) 三谷拓己(中央中) 川崎夏子(丸岡高中) 矢部美貴(三國中) 川部海鈴(三國中) 堀田実希(春江中) 天井豊樹(坂井地区) 細川武彦(丸岡高中) 北出達哉(丸岡高中)

祐安 智基(森田中)  
喜多村 隆志(明倫中)  
北 雅貴(明道中)  
梅田 圭仁(藤島中)  
小玉 祐(科技高)  
高柴 麻矢子(明道中)  
小林 愛実(高志高)

〔参段〕五名

丸山 志織(越前地区)  
富田 直斗(丸岡高)  
仕入 裕也(金津高)  
山本 凌(福井高)  
河上 光浩(福井高)

〔四段〕一名

梅野 秀一(丹生地区)

〔五段〕五名

山本 澄人(越前地区)  
島田 敏宏(坂井地区)  
志尾 武章(坂井地区)  
土手 雅人(敦賀地区)  
松井 香里(敦賀地区)

剣道中央審査会

四月二十九日(木)

於 京都市立体育館

〔六段〕一名

竹内 健(坂井地区)

五月十六日(日)

於 名古屋市枇杷島SC

〔六段〕一名

谷口 典子(越前地区)

四月三十日(金)

於 京都市立体育館

〔七段〕三名

道内 由香里(福井地区)  
江戸 基紀(三方地区)  
柳澤 峰生(福井地区)

五月十五日(土)

於 名古屋枇杷島SC

〔七段〕一名

小山 裕生(鯖江地区)

剣道称号審査会

五月六日(木)

於 京都市武道センター

〔教士〕三名

松永 毅(坂井地区)  
森岡 裕一(越前地区)  
高倉 浩一(坂井地区)



# 女性剣士の部屋

ペンリレー

福井県剣道連盟広報委員・女性委員 松井 香里

「女性剣士の部屋」も四年目を迎えました。お忙しい中、快く原稿依頼を引き受けて下さった皆様、改めてお礼申し上げます。読み返してみますと皆さんの剣道へのひたむきな思いや、家族の理解と協力、周囲の先生方のご支援を得られる素晴らしい環境に置いていただいていることへの感謝の気持ちが随所に感じられました。

また昨年度は成年女子が国体入賞を果たし、今年度は県内初の女性七段剣士(道内由佳里先生)の誕生!!女性剣士の土気も向上すること間違いなしと確信しています。今後も女性委員会を中心に、講習会、県外稽古会への参加など、盛んな活動を考えておりますが、第一回目「女性剣士の部屋」でも書かせていただいたように、とにかく多くの皆さんに興味を持ち参加いただきたいと思っています。時間みっちり参加できなくても大丈夫です。やれる範囲で頑張りましょう。

私自身のことを言わせていただきますと、この半年程は公私ともに多忙を極め体調も今ひとつで思うような稽古ができていませんでした。先日行われた伝達講習会も迷いながら参加、稽古会は失礼させていただきました。しかし更衣室でのどうって事のない話、お弁当を食べながらの他愛ない話に心をほだされ、やっぱり来てよかった...と思えました。この時間、この感覚が女性剣士には大切なのかも、このために来て下さっても良いのでは...とさえ思っています。また、私たちの仲間が増え活気づくことで、危惧されている少年剣士の減少化に歯止めをかけられたらと考えています。今後もう少しずつ女性剣士の輪を広げ「徹子の部屋」を超えていけるよう、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。





## 平成22年8月～10月 事業計画

期 日	曜日	事 業 名	場 所	開 催 者	備 考
8 / 1	日	県民スポーツ祭(一般)	県武道館	県剣連共催	午前8:00から
3～4	火～水	第31回北信越中学総体	県武道館	北信越中体連	
4～6	水～金	第57回全国高等学校剣道大会	沖縄県	全国高体連	
8	日	居合道講習会・居合道段位審査会	越前市	県剣連	午前9:00から
10	火	第52回全国教職員剣道大会	山口市	全学剣連	
15	日	第43回奥越剣道大会	大野市		
21～22	土～日	第45回全国高等専門学校剣道大会	県武道館	全国高専体協	
21	土	剣道 七段審査会	新潟市	全剣連	
22	日	剣道 六段審査会	新潟市	全剣連	
22	日	北信越国民体育大会	富山県	北信越国体事務局	
22～24	日～火	第40回全国中学剣道大会	島根県	全国中体連	
29	日	剣道段位審査会	敦賀市	県剣連	
29	日	第39回福井県少年少女剣道錬成武生大会	越前市	県剣連共催	
9 / 5	日	第49回全日本女子剣道選手権大会	藤枝市	全剣連	
5	日	第23回福井県居合道大会	県武道館	県剣連	多曜日 午前9:00から
11～12	土～日	第37回居合道中央講習会	京都市	全剣連	
12	日	審判法講習会(全剣連)	県武道館	県剣連共催	午前9:00から
18	土	第58回福井県剣道大会(中高生)	県武道館	県剣連	午前8:00から多曜日
19	日	第58回福井県剣道大会(一般)	県武道館	県剣連	午前8:00から
19	日	第56回全日本東西対抗剣道大会	佐賀県	全剣連	
19	日	第5回全日本都道府県対抗少年優勝大会	大阪市	大阪府剣連	
26	日	居合道伝達講習会	県武道館	県剣連	午後13:00(半日)
26	日	剣道指導者講習会・合同稽古会	敦賀市	県剣連	敦賀市武道館
10 / 2～4	土～月	国民体育大会	館山市	日体協	
3	日	剣道形講習会	県武道館	県剣連	午前9:00から
9～11	土～月	第23回ねんりんピック剣道交流大会	羽咋市		
9	土	常任理事会	県武道館	県剣連	午後10:00から
10～11	日～月	中体連近県錬成会	県武道館	県中体連	
23	土	第45回全日本居合道大会	新潟県	全剣連	
30	土	中体連県新人大会	敦賀市	県中体連	中郷体育館

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎  
 メールアドレス [fkikendo@herb.ocn.ne.jp](mailto:fkikendo@herb.ocn.ne.jp) TEL (0776)28-6616

# 越前市剣道連盟



会	長	金	嶋	八	郎
副	会	山	田	昭	栄
副	会	藤	岡	文	男
副	会	松	本	敏	夫
理	事	尾	形	言	成
副	理	内	藤	嘉	昭
副	理	宮	川	保	則
事	務	玉	村	伸	治